

可燃ゴミを減らそう

焼却施設の現状
の巻



環境対策課
☎ 57-8508

今月号から「可燃ゴミを減らそう」と題して、その対策について連載します。
私たちの出しているゴミは、毎年約3億円もの処理費がかかっています。
その内約2億円は可燃ゴミの処理経費です。「もったいない話」だと思いませんか？
この経費を減らすのは、私たちの役目です。

【焼却施設の流れ】



① 市から1日平均約13台のゴミ収集車がゴミを運んでいます。



② 施設へ投入されたゴミから、大量の水が流れ出ています。



③ 施設内にたまったゴミは、約25m上から落とし燃えやすいように拡散します。

④ 拡散されたゴミを焼却炉の中へ投入。この中には、紙やプラなど分別されずに出された資源ごみも…。
焼却後の灰処分に必要な経費は、年間約1,300万円。



香南清掃組合ごみ焼却施設
※煙突から出ているのは水蒸気かほとんどです

生ゴミダイエット！ 水分を切りましょう

【悪臭の原因は水！生ゴミの約50%は水分です。】

私たちの家庭から出す生ゴミは腐りやすく、悪臭で困ることがあります。焼却施設の投入場所も悪臭が漂っています。悪臭や腐敗は、水分をよく切ることで、においを無くし、ゴミの量も減らすことができます。

【生ゴミから出る水の量は？】

昨年施設に持ち込まれた3市のゴミの量は、2万6千トン。1日平均約70トンの可燃ゴミから約1.25トンの水が出ています。これは、1回の収集で1世帯から約100cc(牛乳ビンの半分)の水が出ていることになります。

【始めよう！水切り対策】

- ①生ゴミを長く水切りに置かない。
- ②手で絞る(野菜・果物など危険でない物は、捨てる部分を水切りに入れる前に絞ってゴミ箱に入れる)か水切り内で、器具を使って水分を減らす。
- ③乾かしてから捨てる。



三角コーナーの水切り便利グッズを使うなど、各家庭で生ゴミの余分な水分をシャットアウト！

【焼却効率の向上には水切りを！】

この施設は、3市から収集したゴミを焼却しています。ゴミの種類には、一般家庭ゴミと事業所ゴミがあり、中でも一般家庭ゴミには、大量の水分が含まれています。この水分によって焼却に時間がかかり効率的な焼却ができていません。

施設を効率的に長く使うためにも、各家庭から出る生ゴミは、水をよく切って出してください。そうすることで、各家庭のゴミの減量や施設の焼却燃料費の削減になり、CO₂削減にもつながります。



香南清掃組合
小松事務局長

第60回記念 全国学生書道展 小学生の部 全日本学校書道連盟大賞



赤岡小学校の竹村知夏さんが全日本書道大会で優秀な成績を収めました。書道もスポーツも大好きという活発な竹村さんにお話を聞きました。

家族の応援が
あったからこそその受賞

受賞者コメント

小学1年生の時、いここに誘われ「楽しい！」と感じたのがきっかけで書道を始めました。

書道は落ち着いて書けるところが好きで、あこがれるのは「バランスのちゃんととれた文字」です。今回の受賞は家族のなかでも特におばあちゃんがよるこんでくれてうれしかったです。

竹村知夏さん
赤岡小学校6年

おおきくなーれ!!

みてみて！うちの子

「おかっさん、おかえりい」階段を上る私の足音を聞いて、2歳の末っ子が勝手口にやってくる。そこから、ある意味戦争。がっしり行く手を阻んで両足にかきついてくる。動けない…。スーパの袋と鞆を両手に持つて、かきついたらままの末っ子を引きずりながら台所へ…。期間限定とはいえ、くっついて来てくれるのは非常にあ



りがたいのだが、用事がなんにも進まない。「3人目になったら育児もばっちり余裕やおう♪」「お兄ちゃんたちが手伝ってくれろ♪」とありがちなメッセーをよくもらう。とんでもない！3人3様で誰に似たのか、3人目にしてこの手強さは結構きつい。そういえば、その始まりは出産直後、超安産で登場した後、ひたすら泣く泣く、初乳を飲む飲む、離さない。そのハン

グリーン精神に助産師さん目が見まらる。常に自分を信じて諦めず突き進む末っ子！おたまじゃくしが欲しくて田んぼにためらもなく突入して埋まりこんでしまったら、どうしても服を着る気分じゃなかった夏の

日の朝、化粧台の鏡越しに横切る水着姿に「げっ替えたの?」。お兄ちゃんのトランクスをはきたかった日は、トランクスの5枚重ねで足が黒紫色に！壁にはクレヨンの赤道、廊下には液体洗剤のライン川。1週間に1回は流血…。日々振り回されっぱなし。そんなばたばたも午後9時ごろには静かになる。「寝顔は天使」とはよく言ったもので寝顔を見ると1日の疲れもちよっと減る。どんな夢をみ

てるのか、にやにやしてる。そして朝、「おかっさん！朝あああ！おちて(起きて)！」と朝ご飯が待ちきれない様子で元氣いっぱい絶叫しながら、また賑やかな1日が始まる。カサブタになった広いおでこを出して、髪をくくりながら「今日もいっぱい遊んでおいで」とエールをおくる私。(野市町・なんちゃってママ)

『おおきくなーれ』コーナーでは2歳の誕生日までのお子さんの応募をお待ちしています。■総務課秘書広報係 ☎ 56-0511